

# THE Y S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2019~2020年度 No.239

## 12月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ



強調月間：EMC/MC

#### 今月の聖句

闇の中を歩くときも、光のないときも、主の御名に信頼し、その神を支えとする。

イザヤ書50：10

2019~2020年度 主題

国際会長：(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

「Action!」

東日本区理事：(RD) 山田 敏明(十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動!」

北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)

「われら北東部、世界のワイズメンと共に前に進もう」

#### ・12月第1例会

日時：12月14日(土)午後6時~

場所：日本基督教団 西那須野教会

内容：クリスマス讃美礼拝・祝会(養徳園の方々とYMCAユースリーダーを招いて)、北東部部長公式訪問

司会：田村 修也副会長

開会点鐘 会長 河野 順子

聖書朗読・祈禱 司会者

ワイズソング斉唱 一同

会長挨拶 会長 河野 順子

第1部 キャンドルサービス 司会 村田 榮

前奏(灯火入場) 奏楽 木村 真喜子姉

招詞 イザヤ書第60章1~3節

讃美歌 106(あら野のはてに) 一同

聖書 ルカ2：8~18

メッセージと祈り 「闇の中で光であるイエス」

西那須野教会 牧師 播 炯旭 牧師

讃美歌 112(もろびとこぞりて) 一同

後奏

第2部 (クリスマス祝会) 司会 藤生 勉

ディナータイム(食前の祈り) 田村 暁美メネット

ゲスト紹介(北東部部長挨拶) 田村 修也

ゲーム・クリスマスソングを楽しもう

ギデオン協会よりの聖書贈呈・クリスマスプレゼント

讃美歌 109(きよしこのよる) 一同

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

会費：1,000円

#### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

#### 11月例会データ(出席率：66.3%)

在籍者 6名

例会出席者 1名 YMCAスタッフ 1名 ゲスト(ユースリーダー) 4名

メイキャップ 3名

#### 12月 Happy Birthday

なし

#### ・1月第2例会(役員会)

日時：1月6日(月)午後12時30分から

場所：ココス西那須野乃木店

#### ・1月第1例会(新年例会)

日時：1月24日(金)午後6時~

場所：金の食彩(那須塩原市緑2-1294-5)

会費：3500円

## 12月巻頭言

鈴木 保江

### 子育て奮闘記8弾

長男が受験まであと1ヶ月となった。12月はじめ、受験モードに入るのはいつの日か？受験モードに入るスイッチがあるといっていたが、毎日、早起きをしてはゲーム、寝るまでゲーム、休日は終日ゲーム、学校からかえって玄関にバックを放り投げゲーム。母としては、1日のたった、1、2時間でもいいので受験にむけて気持ちを切り替えてほしいと思っていますが、なぜ、そんなにまでしてゲームがやりたいのか。ゲームをすることが、だめとは思わないが、きりなくしていることに疑問を持っている。父親は見守る時期だと何も言わずに見ている。不思議。

私の子どもの頃は、田んぼを駆け回り、家の手伝いをしそれが当たり前のような日常でした。時代とともに子どもを取り巻く環境が代わり、公園では遊べなくなったり、塾へは必ず親の送り迎えが必要だったり、友達ともラインで連絡を取ったりしている。

コミュニケーションがだんだん出来なくというより下手になっている。自分で考えることも減り、難しいことにチャレンジしなくなり寂しい限りです。自然の中で遊んだり、友達と接することで生きる力を身につけていくと思いつている。それが、楽しかった。

今の子ども達は、かわいそうで仕方がない。自然のなかにはすばらしい「もの」、「こと」がたくさん有り、感動があるのに。

しかし、そこで我が家では、家族でよくクイズ番組を観ている。考えたり、間違ったり、正解したら喜んだり。最近のクイズ番組は、私でも、楽しめる。唯一、ゲームを離れ家族の団らんとなっている。それしか、いまは出来ない。

### 11月例会（日本文化を知ろう・茶道）

会長 河野 順子

日時：2019年11月23日(月・祝)午後2時～

場所：遠山宗定師匠宅

参加者：河野メン。YMCAスタッフ1名（平山主事）。ゲスト・ユースリーダー4名（石井千里（ケイティ）金井修志（しんちゃん）室橋岳人（むろさん）吉田沙織（さおら一））合計6名

11月の例会は、「日本文化を学ぶ」です。茶道のさわりを学ぶことで、歴史的に長い「茶道」を一時でも理解できるかの計画だ。

ワイズの本ネットさんはしっかり体得されているが、会長の私は恥ずかしながらたしなめてない。11月23日(土)は、残念ながらワイズの本ネットはこの日、例会に出られなく、YMCAの学生リーダーが出席しやすい日を選んだということで、学生リーダー4名とY担当の平山さんと会長の私の6名であった。

この日、大田原市は県内唯一の公認マラソンの日で、そちらに参加のため例会に出られないリーダーもいた。街中は交通規制があり、遅刻したリーダーもいた。彼らを待つために座敷で待っていたが、そこにはお茶の作法の7箇条があり、遅参してはいけない

とあり、茶道を学ぶ心構えができていないと恐縮。先生は例年お世話になっている遠山先生、助手は古川様。

小学生時代に裏千家の茶道を習っていたリーダーがいたので、彼女にお正客をお願いしようとしたら、年齢的なこともあり、貴女がしなさいと先生に言われた。もう、緊張。

お茶室に入る前に、ゴミ箱という箱があった。雑念をここに捨ててから、茶室に入るようだ。

全員の誕生日を聞いて下さって、誕生日にあったお茶碗を出して下さいました。お正客であっても、一つひとつ作法を教わりながら頂く。4人目くらいから前入者の流れをみて、スムーズな流れで進む。さすがリーダーである。ただ、彼らはお座りが慣れてなく、しびれがひどかったようだ。時々、先生に「痩せなさい」なんて言われていた。

先生は、若い彼らに少しでも学んでもらおうといういろいろ話しをして下さった。先生も齢80歳を過ぎているが、お茶に関しての話では、顔が輝き、若々しく見えた。

全員、満面の笑みで帰路に着いた。先生と古川様に感謝。

次に参加したユースリーダーの感想文を記載します。

石井千里（ケイティリーダー）

お茶会に参加させていただくのは、2度目でしたが、今年も楽しかったです。

茶道に触れる機会や、経験はないのですが、丁寧に教えていただきました。茶道は一つ一つの作法がとても細かく、難しいところもありましたが、細かいところに日本人の奥ゆかしさを感じられ、学びになりましたありがとうございました。

金井修志（しんちゃんリーダー）

日本の文化である茶道を一度は体験してみたいという思いがありましたが、なかなか機会がなく体験できないでいました。その中で、この茶会参加し、今まで一度も本格的にお茶を煎じて頂いたことがなかったため貴重な経験ができました。体験を通して、日本文化に身をもって体感し、日本人の礼を重んじる心を味わうことができました。

室橋岳人（むろさんリーダー）

私は今までに一度も茶道をやったことがなく、初めての経験でした。茶道は日本文化の一つで、すごく堅苦しいものだと思っていました。しかし、実際に体験してみると、とても趣深く、静かで、心が落ち着く感じがしました。誕生月で使う茶碗が違うなど、沢山学びがありました。日本文化である茶道を見聞きするだけでなく、体験することで、いつもとは違う新たな発見をすることができ、足は痺れましたがとても良い機会になりました。

吉田沙織（さおら一）

お茶会に参加してみて、日本の伝統文化である茶道について、様々なことを教えていただくことが出来て、貴重な体験となりました。表千家と裏千家がある茶道においてのお作法の違いなど、やってみないとわからないことも知れる機会でした。私自身、茶道を習っていたことがあるので、懐かしいと思うと同時に、忘れていたお作法を思い出す良い機会となりました。ありがとうございました！

## 12月第2例会（役員会）報告

日時：12月2日（月）午後12時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、鈴木、藤生書記、協議事項

1. 11月例会（日本の文化を知ろう・お茶の会）

の反省

メンバーは都合が悪く参加が少なかったが、リーダー4名の参加で実施。大変素晴らしいひと時であった。遠山宗定師匠より次は、春に行うとよいとの申し出をいただいた。

2. 12月例会の件

12月14日（土）午後6時より、日本キリスト教団西那須野教会にて実施する。養徳園の皆さんの招待、ユースリーダー、教会関係者、その他の方々に案内する。メンバーは、一品持ち寄りで会費1,000円。第1部キャンドルサービス、第2部祝会のプログラムの確認。会場づくりは4時より行う。西那須野教会に会場費として2,000円支払う。講師・奏楽・食事の準備の奉仕者に3,000円のお礼をする。プログラムの印刷は、YMCAに依頼。献金は、YMCAの被災地支援に充てる。

3. 1月役員会の件

1月6日（月）午後12時30分よりココス西那須野乃木店で行う。

4. 1月例会の件

1月24日（金）午後6時より、那須塩原市緑の「金の食彩で新年例会行う。会費は、3500円。ユースリーダーの参加については、1月役員会にて話し合う。

5. その他

- ・2月役員会は、2月3日（月）に開催。
- ・2月例会は、ユースリーダーの報告会とし、2月21日、22日に出平井主事と調整する。
- ・原田時近会員は、病気療養のために例会参加ができにくくなるので、本人の了解のもと、功労会員として本部に申請する。

## 第1回北東部評議会報告

書記：藤生 勉

2019-2020年度の第1回北東部評議会が、11月16日（土）午後宇都宮YMCAさくらんぼ幼稚園を会場に行われ、北東部役員と9クラブから合わせて14名が出席しました。那須ワイズからは藤生が出席しました。

評議会は今年度開始7月から11月までの各クラブ活動状況報告を中心に行われましたが、台風19号の被害報告が多くクラブで行われ、被害の大きさを感じました。

会員増強報告では、会員確保に苦戦をしているクラブも多く、共通の課題であると認識しました。今後も情報の共有を行いながら、課題解決に向けて

進めたいと感じました。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第81回）

田村修也

疎水那須開墾社の日誌によると、10月21日には滝沢、実取、遅野沢、墓沼の4か村より人歩集合し、一人につき巾6尺長さ10間を割付け芝剥ぎをやらせ翌22日にも、親園、遅野沢、墓沼の3か村から人歩出場、掘さく作業に従事し、安藤秋元はこれを監督したと記されています。勿論その外の日にも作業が続けられて、工事は12月中に終了しました。翌年明治19年2月7日に、社員の斎藤半次郎が出来形検査を行って虎児は完了となりました。これが現在の竪掘り（那須開墾社開拓地の中央を走る疎水）です。これは第4分水の3つの支線の内主要のものであって、最も多くの開拓者が恩恵に浴しているものです。

明治18年9月、本幹の水路工事が竣工して、続いて支線も国の土木局によって着工され、19年夏までには各支線ともに工事が終了しました。これによって土木局から派遣された人たちも、現場を引き払って国に帰ることになりました。

最後に触れることとなりますが、昭和41年7月8日に黒磯市内板室温泉に近い新木ノ俣トンネルの浚渫工事最中に発生した事故を契機として、実施されることになりました国営那須野原総合農地開発事業が着工になりました。そしてその事業所が、西那須野町三島地内、国道4号線と塩原街道の交差点、旧狩野村役場跡に建設されました。すべての事業が完成し平成6年10月3日国営事業完工式が挙行され、平成7年3月31日に事業所が閉所になりました。私は当時、大田原林業事務所に勤務していて、板室地内から那珂川源流に向かって進み、三斗小屋を経由して大峠を越え会津田島へ向かう白湯山林道の入り口を尚越えて、那珂川支線の大川を遡って男鹿岳の裾野の峠で会津田島からの林道と合流する林道大川線の開設工事を担当しておりました。そのために、板室街道をオートバイで通って工事現場へ行く途中で、この新木ノ俣隧道の事故の発生現場に遭遇致しました。忘れることが出来ません。

また、国営事業所に勤務していた技術者の一人が、西那須野教会の客員として教会生活を共にしていました。そのご夫妻が事業所閉所により帰京することになった送別会で、私が兄弟の那須野の地での働きを紹介して感謝の言葉を宣べました。そして、国営事務所が撤去されてゆく姿を見ていたので、明治1

9年に土木局の事業所が閉じられて、滞在して担当していた土木局の技術者はじめ職員の方々が帰京する姿が、思わず重複してしまい脱線してしまいました。

疎水が完成した後の維持管理は、当然のことながら地元受益者の責任となりました。これ迄も受益者である各開墾社等は疎水に関しては一致して団体的に行動を共にしてきていますので、この関係は水組と言われるようになりました。那須水組です。しかしこの関係はまだ明確な規約もありませんし、組織も整ってはいませんでした。水路は一応完成はしたものの、暴風、豪雨等々の災害で、素掘りの水路の破損の心配は多々ありました。今までは土木局に頼っていたものが、土木局の引き上げによって、頼るところがなくなってしまいました。今後の維持管理を考えると不安要因は多々ありました。そこで、関係者が集まって協議を行い、県知事あてに嘆願書を提出することになりました。（以下次号へ）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

主事の平山雄大様、ボランティアリーダーの皆様には、子どもたちが大変お世話になっております。

さて、今活躍中のアスリートである卓球の石川佳純選手と柔道の犬野将平選手が、同じ山口天使幼稚園出身という記事が随分前に新聞に掲載されていました。その時は偶然という印象でした。先月に卒園生のある高校生が相次いで2人訪問してくれた際に、この記事思い出しました。

この園は、何を大切にしているのだろうかとホームページを見てみました。沿革には、「カトリック教会の精神の基で本園は創設しました。そして1987年からは、モンテッソーリ教育を取り入れ次代を担う人間の“自立と心の教育”を中心とした保育に専心し、現在に至っています。」とあり、スポーツの早期教育に特段力を入れている園では全くありませんでした。行事も少なく、遊びの時間を多くとっていることがわかりました。

先の高校生の1人は、この夏の甲子園で活躍した卒園生のO君です。お母さんと一緒に報告と挨拶に来てくれました。甲子園には行けませんでした。卒園生のI君は群馬県で、T君は茨城県の地区大会で頑張ったそうです。高校3年生まで野球を続け、レギュラーになり甲子園に行くことは、計り知れない相当な努力や忍耐もあったと思います。

今月研修で、智弁和歌山高校野球部名誉監督の高嶋仁氏の話聞く機会がありました。学費特待制度もない学校で、野球部は各学年10人、普通の人々が全国を相手にするとなりますと、頑張らなくてはなりません。腹筋は1000回、夜中の1時まで練習しました。そこまでやらないと優勝出来ないと聞いてとても驚きました。去年も卒園生のT君が甲子園に行っています。私は、卒園生が2年続けて甲子園に出たことは、単なる偶然ではないと考えます。

もう1人の卒園生K君も高校3年生です。幼い頃の面影はありますが、背丈は臼井主幹教諭と変わっていませんでした。「来年は」と聞きますと、「もう決まっています。せいゆうです。」とのことでした。スーパーの西友かと一瞬思ったのですが、話を聞くうちに「声優」であることがわかりました。もう月に1、2回は東京に仕事に行っているとのことでも驚きました。彼曰く、「僕は学校の勉強はだめで、そのなかでも地理は全くですが、この夏は青春18切符で行き当たりばつりの1人旅をしてきました。親も信頼してくれているので。今も行った地名と景色は、鮮明に覚えています」、「ゲーマーもしています。人気があるゲームだと競争相手も多いので、限られた分野での権威です。」

声優になるきっかけは、K君がYouTubeに流した声を、業界の権威の1人がとても良い声音と認めてくれたからだそうです。声優の仕事場でいろんな人と出会い、情報収集が大切とわかり、いろんな情報を集めているとのことでした。体験智と知識から出る彼の言葉はとても説得力があり、自信に溢れていました。そんな彼は、普通高校から通信制高校に変わるなど大きな変化もあったようです。

1つの事を続けているO君、高校も変わりいろんな事にトライしているK君、この2人の高校生は一見違って見えますが、目には見えない共通している点があります。それは、非認知能力の1つであるレジリエンス(折れない心)の高い持ち主であることです。この2人に会う機会が与えられて、とてもうれしく思いました。幼児教育を木の生長に例えますと、見えない根の部分です。子どもたちがしっかりと根を張り、それぞれの実を結んでくれることを願って、保育にあたります。

(しらゆり 2019. 11. 22 加筆修正)

## 教皇ミサに参加して

河野 順子

11月23日～26日教皇フランシスコが司牧訪問

として来日された。びっくりするほど過密なスケジュールの中で、25日は東京ドームで教皇ミサがあり、それに与った。

日頃、祈りを怠っている自分に参加のためのクジが当たって、申し訳ないおもいで参加した。

ドームに向かう車中は、教皇フランシスコ訪日公式聖歌である「すべてのいのちを守るため」の練習を行った。ドームの周辺は、重々しい警備のもと、全国から来たであろうバスが一杯でドームの近くでは停車できない。身体検査を行い、スタンド席に入る。もう既にアリーナ席も一杯である。

司祭たちは、典礼用シンボルマークのプリントされた法衣を纏い、アリーナ席に着いておられたが、これだけの司祭の姿も圧巻(100名以上だと思う)。突然、周りが騒がしくなった。教皇様がオープンカーで巡られるようだ。教皇様のお姿が見えたとき、感動だろうか、ただただ、涙がこぼれてきた。ゆっくり回られて、乳児がいると頭に、顔にキスして下さった。びっくりして泣き出す赤ちゃんもいたが、これから先、親御さんからこの光景を何回となく聞かされて育つだろうと思うと、なんと幸せなことだろうか嬉しさに似た感動が湧き、また涙。教皇様の柔和なお顔。答唱詩編とアレルヤ唱のあのきれいな声の持ち主はシスター。

この日の午前中教皇様は、日本の若者達と会い、東日本大震災時の原発事故で転地した高校生が差別やいじめにあっていることなどの話題があり、それらが説教に織り込まれていた。

感謝の典礼や交わりの儀では、日本の近くからミサに与った韓国やフィリピンの方々のことばで歌われた。ミサは厳かなうちに終わった。

最後、タルチシオ菊地功東京大司教様が感謝の言葉を述べられたが、とてもよかった。私たち一人ひとりのために祈って下さったありがたい気持ちが手に取るように感じた。

幸せを感じた一日だった。

### 教皇フランシスコ訪日公式聖歌

すべてのいのちをまもるため

おお、主よ、あなたのちからとひかりをそいでください。すべてのいのちをまもり、よりよいみらいをひらくため、わたしたちをおつかわしてください。父よ、あなたが造られたすべてのものとともに、あなたをたたえます。

すべてのものは、全能のみ手から、生み出され、あなたの優しいあいに満たされています。

あいかみよ、わたしたちをあなたのどうぐとして



ください。つくられたすべてのものに、  
こころをひらき、いのちをたいせつにすることが  
できますように。  
アーメン。

## YMCAだより

### 【みんなでワイ・＼さくらんぼバザー2019の報告】

11月3日(日祝)に「みんなでワイ・＼さくらんぼバザー2019」行われました。今年も好天に恵まれ大変多くの皆様にご来場いただくことが出来ました。焼きそばやフランクフルト、カレー、やきとり、豚汁、石窯ピザ、アユの塩焼き、うどんなどが人気でした。

毎年恒例の餅つきでは過去最高の120kgをついて完売することができました。

また、ユースユースボランティアリーダーリーダーのクラフトコーナーや高校生リーダーのチョコバナナ販売など大いに盛り上がりました。また、近隣のYMCAからもたくさんのユースボランティアリーダーが駆け付けお手伝いをしてくれました。

このバザーを通しまして約110万円の収益を得ることが出来ました。この益金は国際協力募金への寄付、ユース支援、国内の貧困問題、幼稚園の教育環境改善、災害支援のために使わせて頂きます。ご理解、ご協力ありがとうございました。



### 【とちぎYMCA・那須YMCAの12月の予定】

- ・12/2(月)~12/4(水) 北関東YMCA・東京YMCA合同スキーディレクター・スタッフトレーニング(阿久津・平山が参加)
- ・12/7(土)~12/9(月) 北関東YMCAスキーリーダートレーニング(阿久津・平山・リーダー13名が参加)
- ・12/14(土) 那須英会話クラスクリスマスパーティー@那須YMCA
- ・12/14(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(クラフト&手話体験)
- ・12/15(日) スキーキャンプ打ち合わせ会@さくらんぼ幼稚園
- ・12/22(土) サンタ de ラン&ウォーク@宇都宮城址公園
- ・12/26(木) ウィンタープログラム開始